

『道の駅』第21回登録について

栃木県の14番目の「道の駅」

道の駅『^{おもい がわ}思川』が登録されました。

道の駅『^{おもい がわ}思川』の完成イメージ



「道の駅」は、平成2年1月に開催された中国地域づくり交流会シンポジウムにおいて「道路に道の駅があってもよいのではないか」との提案がきっかけに、地元市町村を主体とした実験を経て整備が始まったものです。

平成5年2月23日に国土交通省により「道の駅」の登録・案内制度が創設されて以来、栃木県内では13箇所が登録されています。

今回第21回目を迎えた「道の駅」の登録において、栃木県内では、小山市（道の駅「思川」）の1箇所について登録申請がありました。

今回申請された道の駅「思川」については8月10日付けで登録が承認され、登録証を交付するものです。

今回の登録により、栃木県の「道の駅」は14箇所となります。

平成17年 8月10日

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

小山市

発表記者クラブ

栃木県政記者クラブ

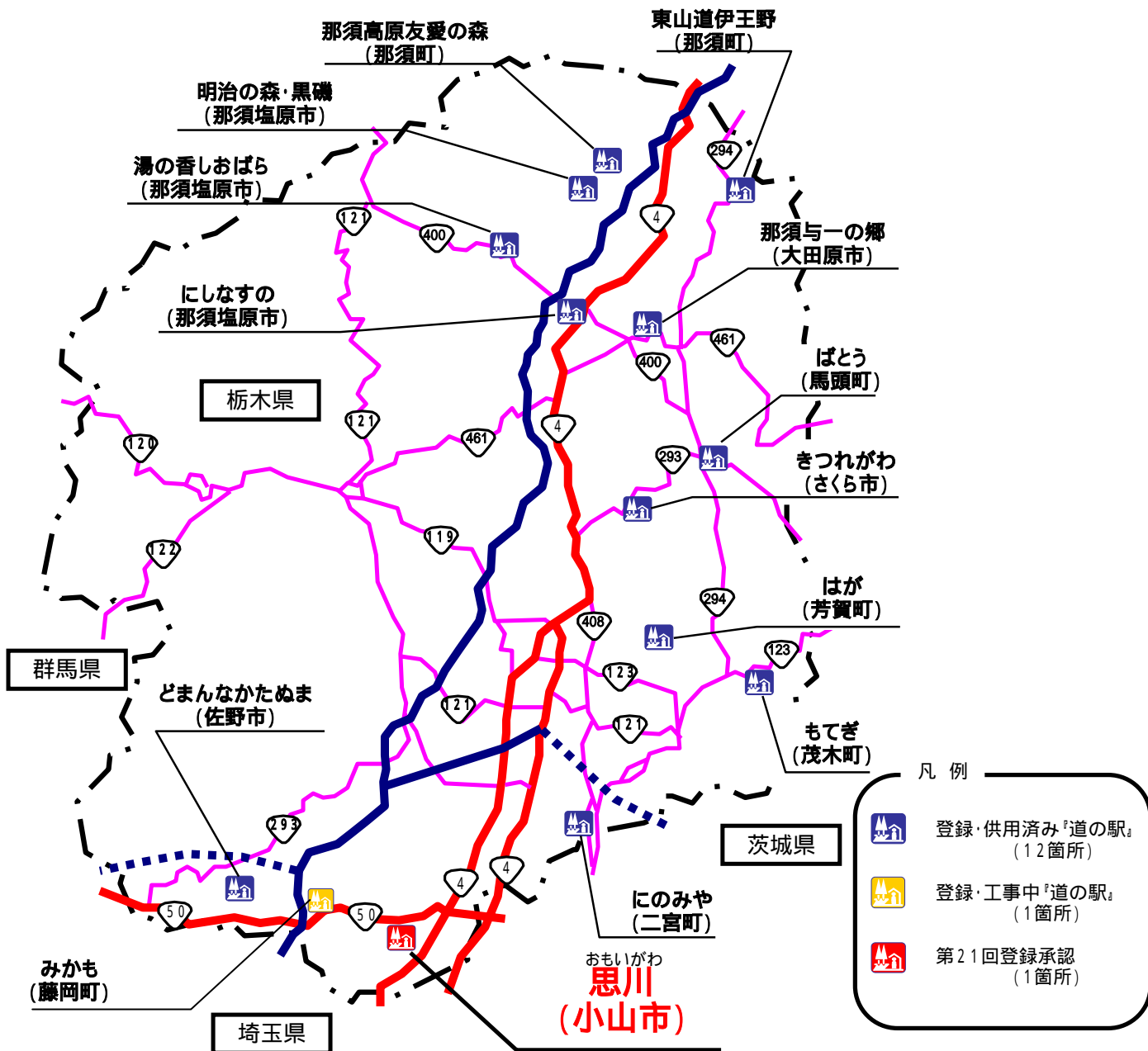
問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所	副所長	戸倉 健司
	調査課長	佐久間 博之
	TEL	028-638-2185
小山市 都市整備部	都市計画課長	北山 友美
	TEL	0285-22-9372

『道の駅』第21回登録状況

	第21回登録	既登録済み	計
全 国	45 駅	785 駅	830 駅
関東地方整備局管内	8 駅	113 駅	121 駅
栃 木 県	1 駅	13 駅	14 駅

栃木県内の『道の駅』



道の駅 『^{おもいがわ}思川』

1. 概要

小山市は、いのち、豊かな心、ゆとりと癒しを育む「水と緑と大地」の素晴らしい自然環境と、古くから連綿と築かれてきた歴史があり、栃木県の南に位置しています。そして東京からわずか60km、県都宇都宮から30km、鉄道や国道などが交差する交通の要衝という立地条件にあるなど、今後さらに発展をする可能性を有する地域です。

道の駅「思川」は、小山市の中心街から国道50号を西に約4kmの位置にある田園地帯に計画され、「小山ブランドの創生と発信」を基本コンセプトとして、小山の持つ恵まれた自然条件や立地条件を活かし、高い技術で生産される農畜産物等を広くPRし、地産地消や都市と農村との交流を推進する拠点施設として整備するものです。

2. 計画内容

【路線名】	国道50号
【所在地】	栃木県小山市大字下国府塚地先
【単独・一体の別】	一体型

※一体型 : 道路管理者が整備する駐車場と、市町村等が整備する地域振興施設が一体となって「道の駅」になるもの。

単独型 : 市町村等が単独で駐車場、トイレ、地域振興施設を整備するもの。

【道路管理者】	国土交通省
【管理主体】	(株)都市と農村交流センター
【施設内容】	

- 駐車場 148台(24時間利用可能)
大型車 25台、小型車 120台 身障者用 3台
- トイレ 36器(内26器24時間利用可能)
男性(小)12器 男性(大)5器、女性16器、身障者用3器
- 公衆電話 1台(24時間利用可能)
- 情報案内コーナー 道路情報や地域情報を提供する施設(物産施設内)。
- 農産物直売施設 地域で生産される農産物を紹介、提供する施設。
- 農産物加工施設 地元の農産物を使用した地域の特色を活かした加工を行う施設。
- 物産施設 小山市の伝統工芸品や特産品を展示・紹介・販売する施設。
- レストラン 地域食材を活用した郷土料理や特産品メニューを提供する施設。
- コミュニティ施設 そば打ちや饅頭作り体験や都市と農村の交流、各種研修や会議に使用する施設。
- 農村公園・市民農園・体験農園
農園・農村をテーマにした体験施設

【供用年月日】 平成18年4月予定

3. 位置図

